

### 事例 3 空調設備

ヒアリング、現地確認の事例	助言等のポイント
<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調の方式はセントラル方式と個別方式を採用している。</li> <li>・今後は PAC へ段階的に移行する予定である。</li> <li>・室外機は 250 台程度ある。</li> <li>・室外機の一部で遮光対策を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パッケージ型空調機の室外機の遮光対策の好事例である。</li> <li>・室外機に直射日光があたると、給気温度が上昇し、室外機のコンプレッサに負荷がかかり、エネルギー使用量が増加する。</li> <li>・コンプレッサの室外機は、直射日光の当たる場所に設置されていることが見られる。</li> <li>・室外機の遮光対策を提案すると、事業者は「できない」と回答する場合がある。</li> <li>・できない理由として、ビルの屋上等にある場合、遮光物が悪天候によりはずれ、事故につながるなどと回答される場合がある。</li> <li>・当該事例では、写真のように屋上の室外機の南面に、柱を固定し、柱にネットを張り、室外機への直射日光を防止している。</li> </ul>



室外機の遮光対策の事例